

佐藤修司

11/4：1コマ目：体験談

昨年度の卒業生でこの4月から教壇に立っている二人から体験談とともに、来年度に向けたのアドバイスが語られた。二人とも、積極的に教育活動に取り組み、教師としての力量を高めていることから、受講生も、来年度の自分の姿をイメージできたように思える。

11/21：1コマ目：困っている子どもの理解と支援

養護学校での実例が映像で出されていて印象的であったが、小中に就職する学生が多いことからすると、小中の実例を入れたり、最後に出された指導のポイントをもっと詳しくして扱ってほしかった。クイズ形式の進行は受講者を飽きさせない点でよいが、「困った子への指導」という点で適切なのか、困っている子どもの疑似体験になるのか検討が必要だろう。

11/18：1コマ目：いじめ、不登校への対応

スペースイオの取り組みがよくわかり、理解が深まった。学生がもっとボランティアなどで関わってもよいように思う。臨床関係の授業との関わりを考えながら、エンカウンターについてはもっと知識、技能を獲得できるようにした方がよいように感じた。

11/25：1コマ目：担任が扱う文書や通信

本学大学院の現職教員院生が講師をつとめる点で、新しい取り組みであり、今後の有効な展開が期待される。実際の現場で起きていること、必要なことがわかりやすく学生には伝わったように思う。学級通信を実際に作ってみる作業を行ってみて、学生はその大変さも伝わったのではないか。